

## 歴史(明治時代④・使節団編)

廃藩置県の直後、右大臣の①\_\_\_\_\_を全権大使とする②\_\_\_\_\_使節団を欧米に派遣した。目的は③\_\_\_\_\_だった。それ自体は失敗に終わったが、この経験が政府の政策に反映されていた。

政府は、近代的な産業を育てることで「富国」を実現するため、④\_\_\_\_\_を進めた。1872年には、新橋・横浜間に⑤\_\_\_\_\_が開通し、その後も主要な港と大都市を結ぶ⑥\_\_\_\_\_が開通した。また、日本の輸出を支える生糸の増産や品質の向上をはかるため、群馬県の富岡製糸場などの⑦\_\_\_\_\_をつくった。

1869年、蝦夷地を⑧\_\_\_\_\_と改め、⑨\_\_\_\_\_という役所を置いて、農地の開墾や資源の開発を進めた。その中心となったのは、各地から移住してきた農業兼業の兵士である⑩\_\_\_\_\_だった。